

第5回 牛久市廃棄物減量等推進審議会議事録

第5回		追番	頁
件名	第五回審議会	場所	牛久市役所保健センター2階研修室
	牛久市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画策定について	日時	令和2年11月27日（金） 10:00～11:00
出席者	学識経験者	小野委員（麗澤大学）、岡川委員（国立環境研究所）	
	各種団体	安藤委員（牛久市商工会）、小松原委員（うしく明日をひらく女性の会）、川谷委員（NPOエコライフ）	
	一般市民	野口委員、橋本委員、柳井委員、村尾委員、藤田委員、岡田委員	
	事務局	藤田部長、梶次長、木村課長、高野課長補佐、山田主査、佐藤主任、宮崎、加藤（株環境施設コンサルタント）	
1. 議事			
(1) 開会			
(2) 議題			
・牛久市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）について			
・その他			
(3) 閉会			
2. 会議資料			
・資料1 第5回会議次第			
・資料2 牛久市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）			
・資料3 第4回牛久市廃棄物減量等推進審議会議事録			
・資料4 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 新旧対照表			
・資料5 第5回審議会 意見・質問および回答			
3. 詳細			
(1) 開会			
木村課長	（本審議会の開会を宣言。新型コロナウイルス感染症対策のため、審議時間を縮小して行う旨を説明。）		
(2) 出欠席報告			
木村課長	（審議委員11名出席の旨を報告。）		
（議事進行を会長にお願いする。）			
(3) 議題			
・牛久市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）について			
高野補佐	（前回までの審議会にて承認いただいた基本計画（案）第1章から第4章までの内容について、再度事務局で見直しを行い、誤字脱字および体裁を修正した旨報告。新旧対照表に基づき修正内容を説明。）		
山田主査	（引き続き内容を説明。）		
佐藤主任	（引き続き資料編の修正内容を説明。）		
小野会長	事前に頂いている委員からの意見に対する回答を事務局より説明願う。		
佐藤主任	（委員からの意見に対する回答を説明。）		
小野会長	その他の意見等あるか。回答に対する再質問でも構いません。		
小野会長	新旧対照表にて説明された数値の修正は単なるミスによるものか。或いは基準や判断を変更したことによるものか。		
山田主査	単純なミスによるものです。		
岡川委員	計画案本編P.70の項目で新たに「牛久クリーンセンター（資源化施設・リサイクルプラザ）の適正管理」としてリサイクルプラザを追記しているが、本文ではリサイクルプラザについてどのように活用・運用するか		

の説明が見受けられません。リサイクルプラザについて言及する必要はないですか。

小野会長 リサイクルプラザも施設の一つであり、資源化施設同様に適正管理することを意図しているかと考えますが、いかがですか。

山田主査 クリーンセンターを管理している担当職員から、資源化施設だけでなくリサイクルプラザも適正管理すべき施設である旨を記載してほしいという要望があり、追記した経緯がある。本文においてもリサイクルプラザに関する内容を記載し、注釈を追加する。

岡川委員 もう一点質問させていただきます。質問および回答にて説明のあった木質ペレットの製造単価および木質ペレット利用による二酸化炭素削減量は公表されている値ですか。

梶次長 議会答弁でも使用している公表値です。

岡川委員 質問でも触れられていますが木質ペレット製造の有効性を具体的に伺いたいです。例えば、二酸化炭素141tの削減ができていると記載されているが、何を使用したときと比較しての削減量であるかという点、もう一点が、二酸化炭素1tを削減するにあたり、どれくらいの費用が掛かっているかという点が気になります。これは見せ方として有効性のアピール部分につながるかと考え質問させていただきました。

梶次長 ごみ処理基本計画の大前提として環境基本計画があり、その計画の中に温室効果ガスの削減についての地球温暖化対策実行計画を記載しており、温室効果ガスについての目標値を設定している。二酸化炭素の削減達成のためのメニューとして、BDFやペレット、刈谷行政区で行った堆肥化事業を進めている。木質ペレットの製造単価として1kg当たり152円掛かっているのは事実であるため、この事業を広めることで単価を下げる努力をしている。新築の家でもペレットストーブを導入された事例を伺っているので、良い取り組みとしてこれらの事業をアピールしていきたいと考える。

小野会長 環境税の議論では、トンカーボン当たり2~3万円程度の費用をかけると削減できるという大まかな計算があり、公共事業と一般的な市民生活を目標とした計算では条件は異なるが、費用対効果に関する数値は必ず議論に上がるので、その際にご回答いただきたい。同じような考え方で、基本理念として挙げている「ごみの出ないまちをつくろう」についても、費用対効果の観点では言い方が変わるのではないかという議論も出てくると考える。企業においても消費者に対する責任だけではなく、将来の見通しに対する責任として情報開示することが一般的になっており、牛久市の事業としても効率的に環境負荷を下げるためにどうすべきかという観点が出てくるので、今後の総合的な施策の中で有効的にこの計画を運用していければと考える。

小野会長 これまでに報告された内容について審議会で議論いただき、本会議をもって牛久市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画(案)について了承いただきました。

・その他連絡事項等について

小野会長 今後のスケジュール等について事務局より説明願う。

木村課長 (今後のスケジュールおよびパブリックコメント実施内容について説明。また、次回審議会の日程およびパブリックコメントに対する回答について審議する旨を説明。新型コロナウイルス感染症の状況によって書類審議になる可能性についても説明。)

小野会長 では、本日の議題はこれで終了とする。

(4)閉会

以上